

事業所名

ユニスクさが（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

R7

年

3月

28日

法人（事業所）理念		この社会から「障害」「発達障害」という言葉をなくす						
支援方針		18歳の時点で将来への進路が決まっていることを目指します。進学・就職・働く準備など、自分に合った、豊かな未来に向けて歩いていけるようになることです。具体的には、1. 社会の中で生きていける力の基盤を作ります。2. 自分の感情を知り、コントロールできるようになります。3. 自分の進路を自分で自分で決められます。4. 仲間とともに行動できます。5. 他の人の違いを受け入れられます。6. 社会の仕組みを知り、活用できるようになります。です。						
営業時間		10時	30分	19時	30分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	ライフスキル：生活力を身に付け、ひとりで生活したり、家族の一員としてお手伝いしたりできる技術を身に付けます。 キャリア：高校卒業後の進路の準備として、社会の仕組みや職業について学びます。						
	運動・感覚	微細トレーニング：手指の巧緻性(器用さ)は、日常生活だけではなく学校生活や就労でも重要な役割を果たします。不得意を軽減することを目的に手指ゲーム、作業訓練やアート活動、ペン字などを行います。 エクササイズ：粗大運動機能を育てるプログラムです。バランスボール、体幹トレーニング、ストレッチ・ヨガ、筋トレ、ダンス、体育館での球技などを行います。						
	認知・行動	こころのプログラム：自分を知るプログラムです。障害理解、自己受容（アクセプタンス）、アファーマーションなどの心理教育を専門家である常勤の公認心理士が提供します。						
	言語コミュニケーション	人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上を目指します。時と場所に応じた話し方、マナー、敬語、モラルについて学んでいきます。						
	人間関係社会性	集団活動：集団の規律や社会のルールのもと、仲間と共に活動できることを目指し、ゲーム性の高いプログラムを通して主体的・対話的で深い学びを習得します。 ソーシャルスキル：社会で生きていく上で必要な技術を身に付けるためにSSTや対人スキル、アンガーマネジメント、マインドフルネス、レジリエンスなどの習得を目指します。 スキルアップ：就職や進学に有利な資格試験へのチャレンジや、探究リサーチプログラム、問題解決型学習（PBL）、職業体験、社会実践プログラム、職能スキルトレーニングなど。						
家族支援		個別相談、保護者会、各種セミナー			移行支援		進学、就職、福祉型サービスなど、それぞれの特性と希望と能力に従って進路相談、同行、学校等の連携を行う 就職を見据えた職業技能開発のためのパソコンのプログラム	
地域支援・地域連携		地域の非営利活動法人が提供するプログラムに参加する 関係機関で役割分担を行うと共に、情報共有・連絡調整をする			職員の質の向上		職員研修を研修計画に従って実施。新入職員研修は別途実施	
主な行事等		就労準備セミナー お出かけイベント・体育館でのジュニア合同スポーツの日・クッキング・季節の制作・社会体験の日（電車・バスでの移動とランチ体験等）お誕生会・長期休み無料体験会・クリスマス会・卒業式・スポごみ活動・進路先訪問見学会・ようこそ先輩の日・防災訓練・受験前集中講座・保護者会・セミナーなど（個人の状況により参加できるものには参加しています）						